

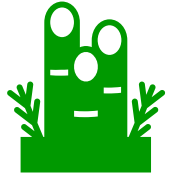
# NPO法人 森づくり奈良クラブ

## <会報 第94号>

事務局：（公財）奈良県緑化推進協会内  
 〒634-0033 橿原市城殿町459  
 TEL 0744-26-0200  
 FAX 0744-26-0201  
 メールアドレス: [gvnc@nifty.com](mailto:gvinc@nifty.com)  
 ホーム ページ:  
<http://gvnc.eco.coocan.jp>



**あけましておめでとうございます  
 本年もよろしくお願ひ申し上げます**



令和6年は、元旦の能登半島地震に始まり9月に能登半島豪雨災害、世界ではウクライナ戦争にパレスチナ紛争と暗い話題が重なりました。ただパリオリンピックでの日本のメダルラッシュという少しうれしいこともありました。

当クラブもこの国に合わせたように高齢化の波が押し寄せ、会員や活動参加者の減少に歯止めがかかりませんが、本年は明るく活気ある一年にするために、従来からの矢田山の維持保全活動に加え、整地→植樹→下刈 のサイクルの特に植樹・育樹に力をこめながら、新たな取組みや楽しみにもチャレンジしていきましょう。

◇TOPICS            

### 最終年度の「陀羅尼助の郷で森づくりin天川村」を開催し無事完了



令和6年の奈良県森林ボランティア連絡協議会の天川村洞川での活動が11月30日（土）～12月1日（日）に開催され、無事目的通り当地での最終年の活動を終えることができました。



当クラブの運営により県内の4クラブ15名が参加し、初日開会のあと昨年まで整備した急斜面の植栽地にヤマザクラとキハダを植樹していきました。鹿や猪よけのカバー等を施し無事4時間ほどで完了。その日は新装なった洞川温泉Cの設備を見学した後、お宿のにしぎに移動して温泉入浴、その後長年お世話になった洞川財産区の前議長にも出席いただき懇親会。

二日目は、天川村林政アドバイザーの杉本さんにこれまでの取組み成果や苦労話の講演をいただき、更に地域おこし協力隊の安大さんのコーラ製造起業についてお伺いして、参考になる時間を過ごすことができました。

最後に洞川温泉スキー場でキハダ植樹地を見学し二日間にわたるイベントが終了しました。



## この半期の活動模様

### 1. 定例活動・・・令和6年7月からのみんなの森を中心とした維持・整備活動

😊 7月13日 曇り 8名参加

午前は暑くなって勢いを増した平成の森植栽地の草刈り。もみじは元気ですが桜は残念ながら全滅の感じ。午後は8月の山の日に計画しているイベントの準備として、クラフト整理と自然観察コース検討を行いました。



😊 7月27日 晴れ 10名参加

2週間後に迫った山の日イベントの準備として、クラフトに使用する竹の間伐や体験用に過去に危険木として伐採したソゴや桧を当日に向けて搬入・準備しました。自然観察コースの下見では暑さが増したイベント当日が少し心配。



😊 8月10日 晴れ 会員10名+一般31名参加

奈良県の山の日川の日に協賛した自然体験イベントを開催。相当暑い一日にも関わらず、30名以上のご家族連れが参加し観察やクラフトを体験し事故なく無事に終えることができました。自然観察講師には生駒里山クラブ会長のご協力をいただきました。



😊 8月24日 晴れ 外部講師1名+会員11名参加

近鉄学園前駅そばの西部公民館で日本赤十字社から講師をお招きして、救急救命法の研修を行いました。座額に続き子ども交流館にも配備されたAEDの心肺蘇生実習も行われ一同真剣に取り組みました。



😊 9月14日 晴れ 8名参加

猛烈な暑さが残る中、みんなの森の下部遊歩道の草刈りや炭窯周辺ではびこった草刈りを行いました。

午後は、炭窯横の泥濘の改善のため排水溝をこしらえ、別班は子ども交流館と駐車場の間にあった危険木を伐採しました。



😊 9月28日 曇り 8名参加

残暑厳しい中、午前はみんなの森の上部遊歩道・苗畑の草刈りを行いました。午後は、刈払機のグリスアップ、こども交流館入口付近にあった危険木伐採。炭窯横のチッパー用倉庫ドアの修繕を行いました。



😊 9月29日 晴れ 5名参加

奈良阪の元明天皇陵そばの森の整備を行いました。暑さのせいか草の量は多くなく、半日で概ね完了。柿や栗は不作のようでした。



😊 10月12日 晴れ 8名参加

夏の間茂ってきた頂上展望台周辺の草刈り・笹刈りを行いました。合わせて枯れて危険気味の桜の木も伐採。暑さのせいかオトコエシの開花は良くない感じ。午後は平成の森の草刈り。



😊 10月26日 晴れ 6名参加

みんなの森下部の笹刈りを行い、その後恒例の柿の収穫、柿の実の出来は良くなく、特に渋柿はほぼ全滅の様。今年の暑さで日本中で不作と聞いていましたが、矢田山も同様でした。

午後は平成の森の前の残りの草刈りと車庫の手直し。



11月 9日 晴れ 6名参加

午前は国道308号沿線整備。工務店横の竹林広場の草刈り・笹刈後、国道の両側の草や笹を刈りながらみんなの森に帰りました。

午後はみんなの森の植樹に向けて下部森林の調査と一部整備を行いました。



11月 23日 晴れ 8名参加

この冬の植樹に向けてみんなの森下部谷沿いの候補地を笹刈りなど整備。平地部分は水はけをよくするため排水溝をつくり、斜面はツルや灌木を除去して日当たりを考慮した整地を行いました。



12月 14日 雨のち曇り 5名参加

朝から冷たい雨の日で参加者は少なくなりましたが、11月に整地したみんなの森下部植栽候補地でテスト的に4本の植樹を行いました。今後イノシシの攻撃状況含め見守っていきます。午後は機器整備と炭窯横の水はけ対策。竹の雨どいが効果を発揮するか楽しみです。



12月 21日 晴れ 8名参加

この日で令和6年の活動納め、竹の間伐を行い恒例の門松づくり。今年はシンプルながらしっかりした門松を飾ることができました。並行して納会の料理作りを行い、昼過ぎからノンアルコールで乾杯。一年の無事を祝いました。来年もよろしくお祈りします。



## 2. 自主活動・・・令和6年7月からの林野庁助成事業活動

😊 7月7日晴れ 9名参加

😊 10月6日晴れ 5名参加

😊 11月3日晴れ 8名参加

令和6年度は5月から小笹の辻から南側の森と更に南の管理道に並行する南尾根が活動対象地で、5・6月の準備段階を経て7月から本格的に活動をスタート。管理道南側の尾根で2班に分かれ倒木玉切り後集積や枯損木の伐採を中心に活動。とにかく暑い。

8月9日は今年の猛烈な暑さのため実作業を秋以降に延期。

10月は小笹の辻南側の三角地の枯損木伐採と笹刈り。この周辺の枯損木は概ね解消し危険回避できました。

11月には8月に続き南側尾根の更に西よりの枯損木を伐採、さらに管理道付近に植樹されている桧の枝打ちを行ってスッキリした林としました。

😊 12月8日曇り時々晴れ 7名参加

😊 12月29日曇り 6名参加

12月8日は11月に続き、管理道南側尾根のナラ枯れ枯損木や大きく傾いたソヨゴなど危険木の除去を中心に取り組みました。

暮れも押し詰まった12月29日天理の道の駅に集合し、昨年に引き続き竜王山の山頂近くで超過密で暗くなっている森の整備。今回は研修を兼ねて桧の間伐を行いました。

最初に熟練者の伐採指導を受け、その後2班に分かれ間伐実習。多いハイカーの安全確保を行いつつ伐採し「かかり木」の対処に苦労しながらも無事活動を終えることができました。



## ◇令和6年下半期の取組み

8月10日（土）奈良県山の日・川の日に協賛して矢田山でイベントを開催し、多数応募の中、抽選で31名の家族連れが参加しました。暑い中開会式、その後2班に分かれて自然観察スタート、ラクウショウの並木からピオトープ・府県の森・シハウチクと進み交流館に戻りました。やはり子供は昆虫などが好みの様子でした。午後には、どんぐりや植物の材料を用いた工作や桧や竹・ソヨゴの鋸引き体験など大人も汗をかきながら真剣に取り組んでいました。今年の催しについては生駒里山クラブの会長に大きなご協力をいただきました。本当にありがとうございました。



8月24日（土）矢田山の子ども交流館にAEDが配備されたこともあって奈良市西部公民館の一室を借り、救急救命講習を実施しました。日赤の協力を得てAED操作手順を主課題として、他にいろいろな症状や事故のケーススタディ。これをきっかけに救急救命スキルのステップアップを進めていきます。



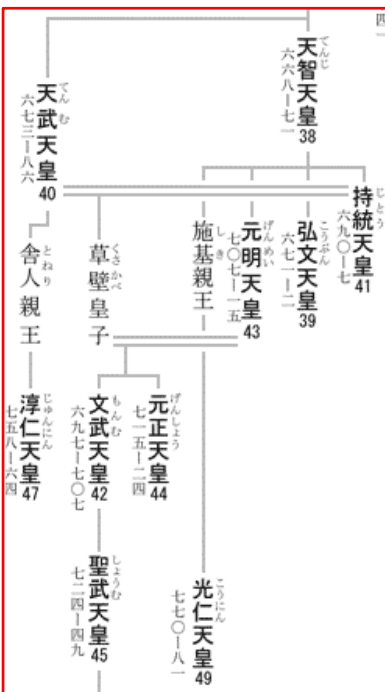
東洋アルミ(株)社の社会貢献施策CO2削減の取組み、の支援の今年度2回目の活動が10月16日（水）にもみじ谷でおこなわれ、当クラブから2名が協力参加しました。今回は遊歩道から少し入った森の中で危険木の伐採や成長したクヌギの下刈りなどを行いました。



令和6年の定例活動の締めは、12月21日毎年恒例の門松作りと飯盒炊爨（飯盒ではなく鍋ですが）、門松はシンプルながら例年以上の出来栄です。炊爨は朝に買い出しをして煮込み風うどんと焼きおにぎり、ノンアルビールで乾杯をして一年の無事を祝いました。



## ◇元明天皇について



当クラブで草刈りや樹木整備等を行っている元明天皇陵隣接地について、令和6年も9月下旬に草刈りなどを実施しましたが、その「元明天皇」について少し調べてみました。

天智天皇の子で持統天皇の異母妹にあたり、草壁皇子との間で文武天皇・元正天皇の母。この辺りの出自は謎も多く天智天皇と天武天皇は実の兄弟ではないとの説もありよくわかりませんが・・・

元明天皇についてネットで調べると

**「奈良時代(在位707～715)の第43代天皇。天智天皇を父とする。持統天皇の異母妹。草壁皇子の妃となり、文武天皇・元正天皇を授かる。在位中は和銅開珎の鑄造、平城京遷都、風土記編纂・古事記選進などをとり行った(※藤原不比等に牛耳られた説もあるが)。715年に元正天皇に譲位する」**

**「平城京を築いた、日本史上で唯一、母から娘へと皇位が継承された二人の女帝。息子の死後に即位した母と、生涯独身を貫いた娘。運命に翻弄されながらも、多難の時代の舵を取り、平城京遷都を成し遂げ、天平の繁栄を築き上げた母娘(元明/元正)」**

などこの欄などで書ききれるものではありませんが「天皇は男系にかざる」はいつ言い出されたものか疑問が残ります(明治以降か?)

### 編集後記

矢田山も猪被害が顕著なこの頃、著名な解剖学者である養老先生の説「戦後、野犬を全滅させ飼い犬を紐ぐよう規制した結果、里山に猪・鹿・熊がはびこりだした」納得します。(E)

■発行人 NPO法人 森づくり奈良クラブ 奥 恵一郎